



市民宣言について

第17回専門部会では、市民宣言を行う時期について2つの意見があったことから、位置づけを定めた上で、それに合った市民宣言が必要である。市民宣言について、委員からの提案を踏まえ議論する。

- ① (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施前に市民宣言を実施する
- ② (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に合わせて市民宣言を実施する

市民宣言の位置づけによるねらいと課題の比較

位置づけ	ねらい	課題
① (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施前に市民宣言を実施 	市民宣言を先行的に実施し、市民自身のこれまでの自動車交通に関する考え方や利用方法を見直すことで、来訪者に対する(仮称)鎌倉ロードプライシング等の合意形成をより円滑に進める。	鎌倉地域の交通渋滞は、来訪者の流入交通の増加がその主な要因であり、(仮称)鎌倉ロードプライシング等の実施前に、合意形成が図れるかが課題である。
② (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に合わせて市民宣言を実施 	(仮称)鎌倉ロードプライシングに合わせて、市民と来訪者が協働で自動車交通に関する考え方や利用方法を見直すものであり、①に比べ市民からの合意形成は図りやすい。	市民宣言と(仮称)鎌倉ロードプライシングは両輪で機能するため、合意形成の時期等の整合を図ることが課題である。

《鎌倉地域の地区交通計画に関する提言(平成8年5月) に盛り込まれた市民宣言(案)》

鎌倉地区交通 市民宣言 (案)

私たち鎌倉市民は、自らの自動車利用を自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした新しい街づくりを進めることを宣言します。

その実現に向けては地区で働く人達や遠来の顧客とともに手を携えて進めます。

私たち鎌倉市民は、

「歩いて楽しい街」、

「静かできれいな街」、

「子供や高齢者にやさしい街」、

「電車やバスが利用しやすい街」、そして

「市民と遠来の顧客が共生しやすい街」をつくります。

私たち鎌倉市民は、この宣言の精神が湘南地域へそして全国に広まることを願います。

平成〇年〇月

市民宣言(案)に関する委員からの提案

【たたき台1】

鎌倉地区交通 市民宣言(案)の見直し

平成8年に策定した「鎌倉地域の地区交通計画に関する提言」に謳われている計画目標を実現するためには、市民自身のこれまでの自動車交通に関する考え方や利用の方法を根底から見直す必要がある。

そこで、本計画の精神を以下に「鎌倉地区交通 市民宣言(案)」としてまとめ、ここに表明することとした。

鎌倉地区交通 市民宣言(案)

私たち鎌倉市民は、鎌倉地域の交通に際して、自らの自動車利用を自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした新しいまちづくりを進めることを宣言します。

その実現に向けて私たち鎌倉市民は、鎌倉地域の交通に関わりのある多くの人達の理解を得て、ともに手を携えて進めます。

私たち鎌倉市民は

1. 歩いて楽しいまち
1. 静かできれいなまち
1. 子供や高齢者にやさしいまち
1. 電車やバスが利用しやすいまち
1. 市民と来訪者が共存しやすいまち

私たち鎌倉市民は、この宣言の精神が湘南地域へ、そして全国に広まることを願います。

平成〇年〇月

鎌 倉 市

鎌倉地区交通 市民宣言（案）の見直し

◆ 市民宣言文書に期待するもの

《意見》：市民宣言文書は、鎌倉市の交通施策を推進していくために、十分条件ですが 必要
条件と受け止めていません。

◆ 「鎌倉地区交通 市民宣言（案）」の文章表現について

- 本文1行目：地区、地域とは（辞書による）

地区：人の居住する土地を人為的に区分してとらえる場合。

地域：自然条件や地勢など、なんらかの意味で共通するひとまわりの範囲を限定していう。

- 本文2～4行目：私たち鎌倉市民は、・・・宣言します。

《意見》：この文章によると、市民が市内のいずれかを移動するとき、自らの自動車利用を
自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創ることになる。地域によっては
実現不可能なところがある。地域を特定するのが望ましい。

《修正意見》：私たち鎌倉市民は、鎌倉地域の交通に際して、自らの自動車利用を自粛し、
徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活か
した新しいまちづくりを進めることを宣言します。

- 本文4行目：「街」は商店などが並んでいる賑やかな所、通りのこと。

「まち」は総合計画で用いている。

- 本文5行目：・・・地区で働く人達や遠来の顧客とともに・・・

《修正意見》：その実現に向けて私たち鎌倉市民は、鎌倉地域の交通に関わりのある多くの
人達の理解を得て、ともに手を携えて進めます。

- 本文11行目：「市民と遠来の顧客が共生しやすい街」

《修正意見》：「市民と来訪者が共存しやすい街」

共生：ともに所を同じくして生活すること。

共存：二つ以上のものが同時に存在すること。同時・同場所に共に存在すること。

◆ 市民宣言（案）の扱い

- 「鎌倉地域の地区交通計画に関する提言（2）」1. 今後の活動内容 （5）市民宣言（案）
の確定では“施策を効率的かつ協力（強力？の誤植）に推進していくためには、提言にあ
る「鎌倉地区交通市民宣言（案）」を確定することが重要である”と記述している。

- 《質問》：確定の具体的な方法とは、市議会に付議するのか。その場合、市長提出か、議
員提出、市民の請願・陳情の採択か。

- 《質問》：「鎌倉地区交通 市民宣言（案）」の主体は、鎌倉市民であると読み取れるが、
鎌倉市民及び行政では拙いですか。

「歩いて、楽しむ・鎌倉地域」 市民宣言（案）

私たち鎌倉市民と行政は、古都鎌倉の歴史的・文化的遺産を保存し、恵まれつつも特異性を持つ風土を保全して、次代に継承すべく努めてきました。

同時に、悪化する交通環境と闘ってきました。中でも、鎌倉地域は特有の都市構造により、前述の自然的・歴史的環境の保全と道路整備の両立が難しい状態にあり、地域住民の生活を脅かす事態に至っています。加えて、同地域の観光特異性がそれに輪をかけています。

ここに私たちは、鎌倉地域の交通に際して、自らの自動車利用を自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした新しいまちづくりを進めることを宣言します。

その実現に向けて、以下の事項を掲げ、鎌倉地域の交通に関わりのある多くの人達の理解を得て、ともに手を携えて進めます。

1. 歩いて楽しいまち、賑わいと活力のあるまち
1. 人と環境にやさしいまち
1. 子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまち
1. 電車やバスの利用がしやすく、移動に便利なまち
1. 市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまち

私たちは、この宣言の精神が湘南地域へ、そして全国に広まることを願います。

平成〇年〇月〇日

鎌 倉 市

【たたき台2・説明資料】

「歩いて、楽しむ・鎌倉地域」 市民宣言（案）

私たち鎌倉市民と行政は、古都鎌倉の歴史的・文化的遺産を保存し、恵まれつつも特異性を持つ風土を保全して、次代に継承すべく努めてきました。

同時に、悪化する交通環境と闘ってきました。中でも、鎌倉地域は特有の都市構造により、上述の自然的・歴史的環境の保全と道路整備の両立が難しい状態にあり、地域住民の生活を脅かす事態に至っています。加えて、同地域の観光特異性がそれに輪をかけています。

ここに私たちは、鎌倉地域の交通に際して、自らの自動車利用を自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした新しいまちづくりを進めることを宣言します。

その実現に向けて、以下の事項を掲げ、鎌倉地域の交通に関わりのある多くの人達の理解を得て、ともに手を携えて進めます。

1. 歩いて楽しいまち、賑わいと活力のあるまち
1. 人と環境にやさしいまち
1. 子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまち
1. 電車やバスの利用がしやすく、移動に便利なまち
1. 市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまち

私たちは、この宣言の精神が湘南地域へ、そして全国に広まることを願います。

平成〇年〇月〇日

鎌 倉 市

【補足説明】

2行目：市民宣言の主体を市民及び行政とした。

2行目：鎌倉市民とは：鎌倉市民憲章で用いている鎌倉市民と同じです。

2～3行目：恵まれつつも特異性を持つとは：自然の城塞都市。明るく広がる緑豊かな丘陵。

広く繋がる海浜。緑に囲まれ分節化された市街地。急傾斜地崩壊危険区域。

4行目：鎌倉市全域でなく交通問題の最重点地区である鎌倉地域に事象を絞って記した。

4行目：「鎌倉地域」は、鎌倉初詣交通規制に該当する区間と概ね重なる。

4～5行目：「鎌倉地域特有の都市構造・・・両立が難しい」は、第3次鎌倉市総合計画
第3期基本計画（以下、「総合計画」という。） 118頁からの引用文

6行目：観光特異性 ⇒ 観光客密度が高い。延入込客数の集中度が高く年間を通じて平準化していない。

8行目：鎌倉地域内の交通とは：鎌倉地域の域内交通、域内外交通、通過交通のすべてを含む。
勿論、来訪者も含む。

8行目：「自動車の利用を抑制し・・・交通環境への転換・・・」は「総合計画」118頁及び124頁に同趣旨のことが謳われている。

12行目：商店等の売上高の増加も期待している。

13行目：自動車交通公害が軽減される。低炭素まちづくりを推進する。

16行目：市民憲章「・・・訪れる人々に良識と善意をもって接します。」の趣旨が実践される。